アイザワ証券 Investment Since 1918 Press Release （全２枚）

JASDAQ コード 8708

平成 23 年４月１日

各　　位

東京都中央区日本橋１丁目 20 番３号
藍　澤　證　券　株　式　会　社
代表取締役社長　藍澤　基彌
（コード番号：8708）
問合せ先　専務取締役　齋藤　孝三
TEL　03-3272-3116
E-mail：ir@aizawa.co.jp

# 平成２３年３月期末の有価証券評価損に関するお知らせ

「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価の著しい低下あるいは直近の財務状況および今後の事業計画から、「金融商品に係る会計基準」に基づく時価の算定が困難であると認められるものが発生したため、その回復があると認められないものについて，平成 23 年３月期において減損処理による有価証券評価損を計上する必要が生じましたのでお知らせします。

記

１　平成 23 年３月期における有価証券評価損

| | 単体 | 連結 |
|---|---|---|
| （A）平成 23 年３月期第４四半期会計期間（平成 23 年１月１日から平成 23 年３月 31 日まで）の有価証券評価損の総額（＝イ－ロ） | 105 百万円 | 105 百万円 |
| （イ）平成 23 年３月期（平成 22 年４月１日から平成 23 年３月 31 日まで）の有価証券評価損の総額 | 864 百万円 | 864 百万円 |
| （ロ）直前四半期（平成 23 年３月期第３四半期）累計期間（平成 22 年４月１日から平成 22 年 12 月 31 日まで）の有価証券評価損の総額 | 758 百万円 | 758 百万円 |

※四半期における有価証券の評価方法は、洗替え方式を採用しております。
※期末における有価証券の評価方法は、切放し方式を採用しております。
※当社の決算期末は、３月 31 日です。

○純資産額・経常利益額・当期純利益額に対する割合

| | 単体（※注１） | 連結（※注２） |
|---|---|---|
| （B）平成 22 年３月期末の純資産額 | 43,214 百万円 | 43,046 百万円 |
| （A／B×１００） | 0.24% | 0.25% |
| （イ／B×１００） | 2.00% | 2.01% |
| （C）経常利益に関する軽微基準額 | 745 百万円 | 66 百万円 |
| （A／C×１００） | 14.2% | 158.4% |
| （イ／C×１００） | 115.9% | 1296.4% |
| （D）純利益に関する軽微基準額 | 518 百万円 | 33 百万円 |
| （A／D×１００） | 20.4% | 316.7% |
| （イ／D×１００） | 166.6% | 2592.7% |

当社は、平成21年3月期より連結財務諸表を作成しております。そのため、単体におきましては過去5年間の平均値に基づいた数値を採用しておりますが、連結におきましては過去2年間に基づいた数値を採用しております。そのため、（C）経常利益に関する軽微基準額と（D）純利益に関する軽微基準額において単体と連結の数字について、差が生じております。

※　注１）最近事業年度の経常利益および当期純利益の額がそれぞれ最近事業年度の営業収益の２％の額、１％の額に満たないため、経常利益および当期純利益は最近５事業年度の平均値を記載しております。

※　注２）最近連結会計年度の連結経常利益および連結当期純利益の額がそれぞれ最近連結会計年度の連結営業収益の２％の額、１％の額に満たないため、連結経常利益は「最近事業年度の営業収益の２％の額」の30%の額、連結当期純利益は「最近連結会計年度の連結営業収益の１％の額」の30%の額を記載しております。

２　今後の見通し

平成23年３月期決算（連結）において、投資有価証券評価損として864百万円を特別損失に計上する予定であります。

なお、当社の業績は株式市況等の影響による変動が大きいため、業績予想は開示いたしておりませんが、業績見通しが判明次第速やかに開示いたします。

以　上